

2012年度心理臨床センター活動報告

1. 開室状況

開室日数は249日（月平均20.8日）、勤務のべ人数は1,040人（月平均86.7人）だった。

2. 電話対応状況

電話対応の内訳は Table 1 のとおりだった。

Table 1 電話対応の内訳

	新規 申込	継続 予約	中止・ 変更	紹介	問い 合せ	合計
4月	3	4	3	0	5	15
5月	4	4	3	0	46	57
6月	9	4	1	0	19	33
7月	10	3	4	0	19	36
8月	2	2	4	0	15	23
9月	3	9	7	0	6	25
10月	2	3	16	0	10	31
11月	2	4	10	0	5	21
12月	0	0	6	0	40	46
1月	9	7	9	0	28	53
2月	14	4	11	2	8	39
3月	7	7	11	0	15	40
合計	65	51	85	2	216	419

3. 相談件数

年間の相談受理件数は119件（前年度71件）だった。また、年間の累積相談受理件数は622件（月平均51.8件、前年407件、前年月平均33.8件）だった。各月における面接形態の内訳は Table 2 のとおりだった。

Table 2 相談件数の内訳

	初回 面接	継続 相談	並行 面接	^{注1)} 心理 査定	問い 合せ	合計
4月	1	22	1	0	1	25
5月	4	19	0	0	0	23
6月	4	26	2	0	0	32
7月	17	32	1	0	2	52
8月	7	75	1	0	0	83
9月	0	57	0	1	0	58
10月	1	70	0	2	1	72
11月	2	36	0	0	2	40
12月	2	32	0	0	1	35
1月	3	29	0	45	1	78
2月	5	44	0	11	1	61
3月	11	47	2	3	0	63
合計	57	489	7	62	9	622

注1) 初回面接・継続面接・並行面接内で行った査定は Table 3 のとおりだった。

Table 3 2012年度に実施した心理検査

検査名		実施数
AAQ-II:	Acceptance and Action Questionnaire-II	119
AAQ-W:	Acceptance and Action Questionnaire for Weight-Related	1
ADIS:	Anxiety Disorders Interview Schedule for DSM-IV	41
BDI-II:	The Beck Depression Inventory-II	201
BES:	Binge Eating Scale	20
CDI:	Children's Depression Inventory	41
CES-D:	The Center for Epidemiologic Studies Depression Scale	7
CFQ:	Cognitive Fusion Questionnaire	8
CISS:	Coping Inventory for Stressful Situations	2
DEBQ:	Dutch Eating Behaviour Questionnaire	1
DSRS:	Depression Self-Rating Scale for Children	41
EDI:	Eating Disorder Inventory	11
FFMQ:	The Five Facet Mindfulness Questionnaire	8
GHQ30:	The General Health Questionnaire	23
IES-R:	Impact of Event Scale - Revised	13
JIBT-20:	Japanese Irrational Belief Test-20	3
LOI:	Leyton Obsessional Inventory	2
LSAS-J:	Liebowitz Social Anxiety Scale 日本語版	31
M.I.N.I:	Mini-International Neuropsychiatric Interview	23
P-F スタディ:	絵画欲求不満テスト	1
QOL26:	WHO QOL26	4
	新版K式発達検査	2
SADS:	Social Anxiety Disorder Scale	3
SCID:	Structured Clinical Interview for DSM-IV-TR AXIS I Disorders	8
SCAS:	Spence Children's Anxiety Scale	41
SCAS-P:	Parent version of the Spence Children's Anxiety Scale	41
SDS:	うつ性自己評価尺度	1
SF-36v2:	MOS 36-Item Short-Form Health Survey	2
STAI:	State-Trait Anxiety Inventory	221
TEG:	Tokyo University Egogram	1
TSFS:	Thought-Shape Fusion Scale	1
TK-ABA:	ABA 基礎知識理解到達度テスト	1
WAIS:	Wechsler Adult Intelligence Scale	1
WISC-IV:	Wechsler Intelligence Scale for Children-IV	5
Y-BOCS:	The Yale-Brown Obsessive Compulsive Scale	3
慈愛尺度:	The Japanese version of the Self Compassion Scale	8
全検査合計		940

4. 相談者内訳

相談者の内訳は Figure 1～3 のとおりだった。

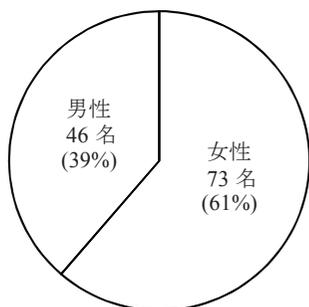


Figure 1 相談者の男女比

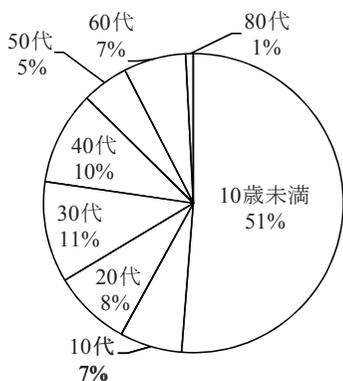


Figure 2 相談者の年齢層

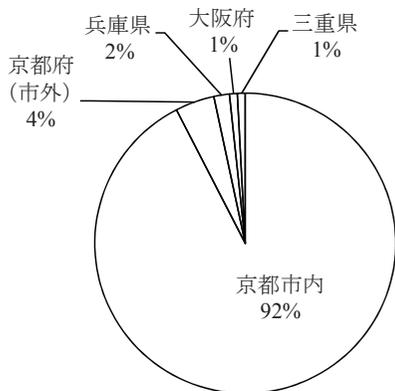


Figure 3 相談者の居住地域

5. 主訴内訳

主訴の内訳は Figure 4 のとおりだった。

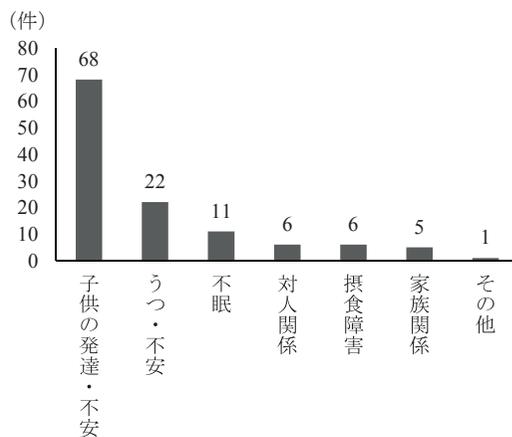


Figure 4 主訴の内訳

6. 来所経緯

相談者が本学心理臨床センターを知った経緯は Figure 5 のとおりだった。

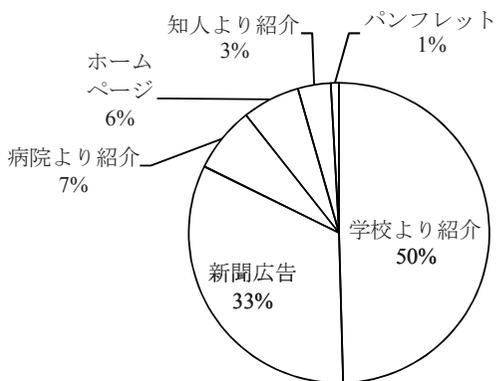


Figure 5 相談者の来所経緯

7. 特別プログラム実施状況

2012年度には4つの特別プログラムが実施さ

れ (Table 4), 相談研修員が臨床と研究を学ぶ機会となった。

Table 4 2012年度実施特別プログラム

プログラム名	実施時期	ケース数(件)	のべ面接数(回)
子どもの不安改善プログラム：いっちゃんが教室	2012年7月～	8	82
うつで休職を繰り返してしまう人のための復職支援プログラム	2012年8月～	11	102
むちゃぐい改善プログラム	2013年1月～	7	21
不眠改善プログラム	2013年2月～	9	1

8. 実習実績

相談研修員の在籍数は10名であり, 本学心理臨床センター内における臨床実習の総時間は393時間, 院生一人あたりの平均実習時間は39.3時間だった (スーパーバイズに必要な時間を含まない)。実習形態は Table 5 のとおりだった。

Table 5 実習の形態

実習形態	件数
面接担当 ^{注1)}	73
面接陪席 ^{注2)}	244
テスター	65
プレイ	3
その他	8
合計	393

注1) ケースの主担当を指す

注2) 面接室での同席, あるいはカメラシステムを介した観察を指す

9. 広報活動

土曜講座：うつを再燃させないための復職支援
(朝日新聞, 12月8日)

子どもの不安改善プログラム：いっちゃんが教室
(リビング京都中央版, 6月2日)

うつで休職を繰り返してしまう人のための復職支援プログラム

(リビング京都中央版, 6月30日)

土曜講座：いっちゃんが教室—自信が持てない子どものために, 脱ダイエット宣言—臨床行動分析から考えるマインドフルな食べ方・暮らし方
(朝日新聞, 12月8日)

むちゃぐい障害改善プログラム

(リビング京都中央版, 1月19日)

不眠改善プログラム

(リビング京都中央版, 2月23日)

子どもの心を育てる

(リビング京都西南版, 3月2日)

10. 心理臨床センター委員会

第1回

日時 2012年6月7日(木)

14時45分～14時55分

場所 有終館担当理事室

出席者 鈴木直人(センター長), 早樫一男(副センター長), 土田道夫(教育支援機構長), 浜吉輝(総務部長)

11. 心理臨床センター運営委員会

第1回

日 時 2012年4月18日(水)
13時00分～14時35分
場 所 継志館心理臨床センター研修室
出席者 早樫一男(副センター長), 佐藤豪,
武藤崇, 興津真理子, 石川信一,
柳澤政宏(心理学部・心理学研究科
事務室事務長, 以下事務長と記載),
菊田和代, 三田村仰, 中西桃子

第2回

日 時 2012年5月9日(水)
13時00分～14時05分
場 所 継志館心理臨床センター研修室
出席者 早樫一男(副センター長), 佐藤豪,
興津真理子, 柳澤政宏(事務長),
菊田和代, 三田村仰

第3回

日 時 2012年5月23日(水)
13時00分～14時30分
場 所 継志館心理臨床センター研修室
出席者 早樫一男(副センター長), 佐藤豪,
武藤崇, 興津真理子, 石川信一,
柳澤政宏(事務長), 菊田和代,
三田村仰, 中西桃子

第4回

日 時 2012年6月6日(水)
13時00分～14時00分
場 所 継志館心理臨床センター研修室
出席者 早樫一男(副センター長), 佐藤豪,
武藤崇, 興津真理子, 石川信一,
柳澤政宏(事務長), 菊田和代,
三田村仰, 中西桃子

第5回

日 時 2012年6月20日(水)
13時00分～13時20分
場 所 継志館心理臨床センター研修室
出席者 佐藤豪, 武藤崇, 興津真理子,
石川信一, 柳澤政宏(事務長),
菊田和代, 三田村仰, 中西桃子

第6回

日 時 2012年7月11日(水)
13時00分～14時30分
場 所 継志館心理臨床センター研修室
出席者 早樫一男(副センター長), 佐藤豪,
武藤崇, 興津真理子, 石川信一,
河越隼人, 柳澤政宏(事務長),
菊田和代, 三田村仰, 中西桃子

第7回

日 時 2012年10月3日(水)
13時00分～14時45分
場 所 継志館心理臨床センター研修室
出席者 早樫一男(副センター長), 佐藤豪,
武藤崇, 興津真理子, 石川信一,
河越隼人, 柳澤政宏(事務長),
菊田和代, 三田村仰

第8回

日 時 2012年10月24日(水)
13時00分～14時15分
場 所 継志館心理臨床センター研修室
出席者 早樫一男(副センター長), 佐藤豪,
武藤崇, 興津真理子, 石川信一,
河越隼人, 柳澤政宏(事務長),
菊田和代, 三田村仰

第9回

日 時 2012年11月7日(水)
14時00分～14時45分
場 所 継志館心理臨床センター研修室
出席者 早樫一男(副センター長), 佐藤豪,
武藤崇, 興津真理子, 石川信一,
河越隼人, 柳澤政宏(事務長),
菊田和代, 三田村仰

第10回

日 時 2012年12月12日(水)
13時50分～15時00分
場 所 継志館心理臨床センター研修室
出席者 早樫一男(副センター長), 佐藤豪,
武藤崇, 興津真理子, 河越隼人,
柳澤政宏(事務長), 菊田和代,
三田村仰

第11回

日時 2013年1月23日(水)
13時00分～15時00分
場所 継志館心理臨床センター研修室
出席者 早樫一男(副センター長), 佐藤豪,
武藤崇, 石川信一, 河越隼人,
柳澤政宏(事務長), 菊田和代,
三田村仰

第12回

日時 2013年3月13日(水)
13時00分～15時00分
場所 継志館心理臨床センター研修室
出席者 早樫一男(副センター長), 佐藤豪,
武藤崇, 興津真理子, 石川信一,
河越隼人, 柳澤政宏(事務長),
菊田和代, 三田村仰

12. 研究活動

論文

馬場天信・佐藤豪・斎藤瞳・木村穰・中川明仁
肥満症患者の心理的特徴とチーム医療介入
の実際 心身医学, **52**, 937-943.

Essau, C. A., Sasagawa, S., Ishikawa, S.,
Okajima, I., O'Callaghan, J., & Bray, D.
A Japanese form of social anxiety (Taijin
kyofusho): Frequency and correlates
in two generations of the same
family in Japan. *International Journal
of Social Psychiatry*, **58**, 635-642.

早樫一男 家族造形法の深度その9 対人援助
学マガジン, **9**, 115-118.

早樫一男 家族造形法の深度その10 対人援助
学マガジン, **10**, 102-104.

早樫一男 家族造形法の深度その11 対人援助
学マガジン, **11**, 122-123.

早樫一男 家族造形法の深度その12 対人援助
学マガジン, **12**, 143-145.

早樫一男 ジェノグラムを通して家族を考える
その5 日本家族心理学会ニュースレター,
39, 5-6.

石川信一 フィラデルフィアでの出会い: 認知
行動療法のメッカを巡る旅 心理学ワールド,
57, 38.

石川信一 子どもの不安障害: 認知行動療法の
実践と成果 日本保健医療行動科学会年報,
27, 59-67.

石川信一 友だちともっと遊びたい: 社会的ス
キルを伸ばす 児童心理 臨時増刊, **954**,
11-17.

石川信一 中学生の不安と抑うつに対する認知
行動療法 ヘルスケアカウンセリング
ケース研究, **206**, 124.

石川信一 中学生における自己陳述と不安症状・
抑うつ症状との関連 心理臨床科学, **2**,
1-13.

石川信一 子どもの認知行動療法: 家庭・学校
で活用するためには? 心理臨床科学, **2**,
93-97.

石川信一 子どもの不安に対する心理的介入に
ついて 広島大学大学院心理臨床教育セン
ター紀要, **11**, 26-32.

石川信一 児童のうつ予防としてのストレスマ
ネジメント教育 臨床心理学, **72**, 776-782.

石川信一 小中学校での抑うつ防止プログラム
Depression Frontier, **11**, 83-88.

石川信一 子どもの認知行動療法 機関紙臨床
心理, **2**, 38-50.

石川信一・元村直靖 心理士による児童青年の
うつ病性障害に対する認知行動療法の実
施: 3事例の報告 行動療法研究, **38**,
203-213.

Ishikawa, S., Motomura, N., Kawabata, Y.,
Tanaka, H., Shimotsu, S., Sato, Y., &
Ollendick T. H. Cognitive behavioural
therapy for Japanese children and
adolescents with anxiety disorders: A
pilot study. *Behavioural and Cognitive
Psychotherapy*, **40**, 271-285.

板垣寛・武藤崇 抑うつ気分は時間認知に影響
を与えるのか 心理臨床科学, **2**, 41-47.
河越隼人・武藤崇・興津真理子 マイクロカウ

- ンセリングによるカウンセリング 自己効力感の向上 心理臨床科学, **2**, 31-39.
- 木下奈緒子・大月友・武藤崇 脱フュージョンの作用機序の解明に関する基礎研究—刺激の物理的特徴にもとづく刺激機能の変換に対する文脈制御の効果— 行動療法研究, **38**, 105-116.
- 三田村仰・武藤崇 我が国における「エビデンスに基づく心理的実践」の普及にむけて：アクセプタンス&コミットメント・セラピー (ACT) のセラピストをどのように養成すべきか 心理臨床科学, **2**, 57-68.
- 水野邦夫・田積徹・興津真理子 合宿・自発参加型による集中的グループ体験が大学生の自己概念に及ぼす影響—構成的グループ・エンカウンターによる検討— 心理臨床科学, **2**, 53-64.
- 武藤崇 アクセプタンス&コミットメント・セラピー (ACT) のトリートメント評価の実際：サイコセラピーがさらに「社会を動かす」ために何が必要か 心身医学, **52**, 810-818.
- 武藤崇 デイメンショナルな「ケース・フォーミュレーション」アプローチとしてのアクセプタンス&コミットメント・セラピー (ACT) *Depression Frontier*, **10**, 59-64.
- 武藤崇 臨床行動分析と ACT：「二人称」の科学とその実際 臨床心理学, **13**, 202-205.
- 武藤崇・三田村仰・大屋藍子 アクセプタンス&コミットメント・セラピーの「来し方、行く末」：それは認知療法との邂逅から始まった 認知療法研究, **6**, 20-30.
- 興津真理子・早樫一男 家族造形法による空間的距離と質問紙による心理的距離との関連について 心理臨床科学, **2**, 49-56.
- Ollendick, T. H., & Ishikawa, S. Interpersonal and social factors in childhood anxiety disorders. In C. A. Essau & T. H. Ollendick (Eds.), *Treatment of Childhood and Adolescent Anxiety Disorders*. London: Wiley-Blackwell, pp.117-139.
- 茂本由紀・武藤崇 脱フュージョン・エクササイズに対するアナログ研究の現状とその課題 心理臨床科学, **2**, 81-91.
- Takagaki, K., Okajima, I., Kunisato, Y., Nakajima, S., Kanai, Y., Ishikawa, S., & Sakano, Y. Preliminary assessment of the behavioral activation model in Japanese undergraduate students. *Psychological Reports*, **112**, 47-59.

刊行物

- 早樫一男 ジェノグラムを通じた家族理解 (展開編) そだちと臨床12 明石書店 pp.136-141.
- 早樫一男 家族造形法を使った事例検討会 ケアマネジャー2013年2号 中央法規出版 pp.38-43.
- 早樫一男 家族造形法を使った事例検討会 ケアマネジャー2013年3号 中央法規出版 pp.62-69.
- 早樫一男 家族造形法を使った事例検討会 ケアマネジャー2013年4号 中央法規出版 pp.36-43.
- 石川信一 こどもの不安障害 坂野雄二 (編) 60のケースから学ぶ認知行動療法 北大路書房 pp.210-214.
- Ishikawa, S., Sasagawa, S., & Essau, C. A. The prevalence and nature of child abuse and violence in Japan A. Browne Miller (Ed.), *Violence and abuse in society: Across time and nations*. New York: Praeger, pp.307-322.
- 三田村仰・武藤崇 (監訳) 不安障害のための ACT (アクセプタンス&コミットメント・セラピー) 実践家のための構造化マニュアル 星和書店
- 武藤崇 (監訳) よくわかる ACT (アクセプタンス&コミットメント・セラピー)：明日からつかえる ACT 入門 星和書店 (原

- 典 : Harris, R. ACT Made Simple: An Easy-to-Read Primer on Acceptance and Commitment Therapy)
- Ollendick, T. H., & Ishikawa, S. Interpersonal and social factors in childhood anxiety disorders. In C. A. Essau & T. H. Ollendick (Eds.), *Treatment of Childhood and Adolescent Anxiety Disorders*. London: Wiley-Blackwell, pp.117-139.
- 佐藤正二・佐藤容子・石川信一・佐藤寛・戸ヶ崎泰子・尾形明子 学校でできる認知行動療法 子どもの抑うつ予防プログラム: 小学校編 日本評論社
- 学会活動**
- 団士郎・早樫一男 実践的ケースカンファレンス研修 (日本家族心理学会主催研修, 講師, 3月23日)
- Essau, C., Ishikawa, S., & Sasagawa, S. A. Japanese form of social anxiety (Taijin kyofusho): Its frequency in two generations of the same family in Japan. (The 33rd STAR International Conference, ポスター発表, 7月2日)
- 早樫一男・古川秀明 家族造形法を使った実践的ケースカンファレンス (日本家族心理学会第29回大会ワークショップ, 講師, 7月14日)
- Ishikawa, S., Kikuta, K., & Mitamura, T. Consistency of children's anxiety symptoms between self- and parent-reports: Moderator analysis of family CBT for children with anxiety disorders. (The 46th Annual Convention of Behavioral and Cognitive Therapies, ポスター発表, 11月17日)
- Ishikawa, S., Sato, H., Togasaki, Y., Sato, Y., & Sato, S. Universal Prevention for Depression in School: Implication for Anti-Stigma Action in Education. (International Meeting of WPA Anti-stigma section (6th), シンポジウム, 2月14日)
- 上西祐輝・佐藤豪 ストレス反応に対するレジリエンス作用に関する研究 (関西心理学会第124回大会, 口頭発表, 10月28日)
- 河越隼人・杉若弘子 カウンセリング技法習得のモデリングにおける観察者言語化と他者言語化 (日本心理学会第76回大会, ポスター発表, 9月11日)
- Kishita, N., Muto, T., Ohtsuki, T., & Sakai, M. Generalized Contextual Control over the Transformation of Stimulus Function. (38th Annual Convention of the Association for Behavior Analysis International, Seattle, WA, ポスター発表, 5月27日)
- Kishita, N., Ohtsuki, T., Stewart, I., & Muto, T. The Training and Assessment of Relational Precursors and Abilities (TARPA): A Preliminary Analysis with Typically Developing Children in Japan (10th Annual Conference of the Association for Contextual Behavioral Sciences, Washington D.C., シンポジウム, 話題提供, 7月24日)
- 楠無我・元村直靖・川端康雄・稲田泰之・石川信一 様々な不安症状によって登校が困難になった中学生に対してCBTプログラムを適用した一事例 (第38回日本行動療法学会大会集, ポスター発表, 9月22日)
- 森下百合子・佐藤豪 職業人における心理ストレスとBIS/BASの関連 (関西心理学会第124回大会, 口頭発表, 10月28日)
- 波戸綾香・尾形明子・石川信一・戸ヶ崎泰子・佐藤正二 児童生徒の抑うつ症状の性差および発達的变化の検討: 小児抑うつ尺度(CDI)を用いて (第9回日本うつ病学会総会, ポスター発表, 7月27日)
- Mitamura, T. & Muto, T. Preliminary study of therapist training for

- acceptance and commitment therapy (ACT) therapist in Japan. (10th Annual World Conference of Association for Contextual Behavioral Science, Washington, D.C., ポスター発表, 7月23日)
- 三田村仰・武藤崇 13年にわたる抑うつと不定愁訴を抱えるクライアントへの ACT (アクセプタンス&コミットメント・セラピー) (日本行動療法学会第38回大会, 口頭発表, 9月22日)
- 水野邦夫・田積徹・吉川栄子・興津真理子 グループ体験における感情変動が自己イメージに及ぼす影響—構成的グループ・エンカウンターを用いて— (日本心理学会第76回大会, ポスター発表, 9月12日)
- 武藤崇 慢性うつクライアントに対する ACT による復職支援 (ACT Japan, 2012年度年次ミーティング, 口頭発表, 3月31日)
- 大月友・木下奈緒子・秦奈都美・三浦史寛・佐々木正志・武藤崇 臨床行動分析にもとづく脱フュージョンの作用機序に関する基礎研究(3): ACT を行動分析する (日本行動療法学会第38回大会, ポスター発表, 9月23日)
- Ohtsuki, T., Kishita, N., & Muto, T. Experimental analysis of cognitive defusion from RFT perspective: Effect of contextual control over transformation of stimulus function. (10th Annual World Conference of Association for Contextual Behavioral Science. ポスター発表, 7月23日)
- 興津真理子・早樫一男 家族造形法に関する基礎的研究—造形法における人物間の距離と心理尺度との関連— (日本家族心理学会第29回大会, ポスター発表, 7月15日)
- Oya, A., Nakase, K., & Muto, T. Characteristics of behavioral variability in students with high experiential avoidance. (Association for Contextual Behavioral Science Annual World Conference, Washington, D.C., ポスター発表, 7月23日)
- 齋藤瞳・佐藤豪 交流分析理論に基づく自我状態と人格5因子論の関連 (日本心理学会, ポスター発表, 9月13日)
- 酒井美枝・増田暁彦・木下奈緒子・武藤崇 Creative Hopelessness Rationale の効果に関する予備的検討: 介入前後の不愉快な私的事象への評価と感情に見られる変化 (日本行動療法学会第38回大会, ポスター発表, 9月23日)
- Sakai, M., Muto, T., Masuda, A., & Kishita, N. A Preliminary Study on Examining the Effects of Creative Hopelessness. (Association for Contextual Behavioral Science Annual World Conference, Washington, D.C., ポスター発表, 7月23日)
- Sakano, A., Muto, T., Kishita, N., & Ohtsuki, T. What kind of “non-verbal” intelligence predicts relational flexibility?: The relationship between performance of IRAP and Das-Naglieri Cognitive Assessment System (DN-CAS) (10th Annual World Conference of Association for Contextual Behavioral Science, ポスター発表, 7月23日)
- Shigemoto, Y., Muto, T. Effect of cognitive defusion on self-relevant negative thought: Examining the impact of “I think that” phrase (10th Annual World Conference of Association for Contextual Behavioral Science, ポスター発表, 7月23日)
- Shimotsu, S., Emura, R., Ishikawa, S., Nagao, A., Ogata, A., Hiejima, S., Hosomi, J., & Horikawa, N. Effectiveness of group cognitive behavior therapy in reducing self-stigma. (6th International Meeting of

WPA Anti-stigma section, ポスター発表,
2月14日)

山本真由香・佐藤豪 大学生のストレス耐性に
与える自尊感情の影響(関西心理学会第
124回大会, 口頭発表, 10月28日)

研究会活動

早樫一男・古川秀明・興津真理子 京都家族造
形研究会 現任者のための家族援助研修会
(5月11日, 6月8日, 7月13日, 8月10
日, 10月12日, 11月9日, 12月7日)

早樫一男・興津真理子・団士郎・村本邦子・岡
田隆介・古川秀明 家族造形法の深度:二
日間家族造形法ざんまい(研修会, 9月29
日, 30日)

石川信一・佐藤寛・高橋史・小関俊祐 子どもの
社会性と認知行動療法(第10回児童青年
認知行動療法研究会, 12月8日)

13. 社会貢献

講演・公開講座

早樫一男 平成24年度市町村児童相談担当職員
研修(京都府福知山児童相談所主催研修会,
講師, 6月26日, 9月4日)

早樫一男 平成24年度「児童虐待対応のための
基礎研修」(奈良県中央子どもセンター主
催研修会, 講師, 7月17日)

早樫一男 平成24年度介護支援専門員更新(専
門)研修「介護支援専門員特別講義」(奈
良県社会福祉協議会主催研修会, 講師, 8
月10日, 31日, 9月25日)

早樫一男・興津真理子 平成24年度支援者支援
研修「ジェノグラムと家族造形法」(立命
館大学人間科学研究所主催研修会, 講師,
7月22日)

石川信一 子どもの社会的スキル教育(京田辺
市立培良中学校研修会, 講師, 6月27日)

石川信一 児童の不安障害に対する認知行動療
法(国立精神・神経医療センター 第13回
発達障害児・者支援医学研修プログラム(知

的障害研究部), 講師, 7月5日)

石川信一 心の健康教育:CSSを通じて(京都
市立室町小学校研修会, 講師, 8月22日)

石川信一 子どもの不安に対する心理的介入に
ついて(第19回 広島大学心理臨床セミナー
子どものうつと不安へのエビデンスベース
トアプローチ, 講師, 10月27日)

石川信一 子どもの認知行動療法(龍谷学会主
催臨床心理特別講義, 講師, 11月8日)

石川信一 社会的スキル教育:予防的取り組み
(城陽市立東城陽中学校校内研修会, 講師,
11月28日)

石川信一 子どものこころによりそって:子ど
ものうつ・不安の理解と対応(新潟県精神
保健福祉協会こころのケアセンター主催
子ども講演会, 講師, 12月15日)

石川信一 いっちゃんが教室:自信が持てない子
どものために(同志社大学心理臨床セン
ター土曜講座, 講師, 1月12日)

石川信一 認知行動療法の立場から(財団法人
日本臨床心理士資格認定協会主催第71回臨
床心理士研修会, 講師, 2月3日)

石川信一 子どもの不安や落ち込みを和らげる:
学校でできる支援プログラム(公益社団法
人神奈川学習障害教育研究会 冬のセミ
ナー2013, 講師, 2月23日)

菊田和代 子育て支援ははじめの一步:人と関わ
るための基本スキル(下京子ども支援セン
ター主催 赤ちゃんお祝い訪問事業研修会,
講師, 2月20日, 3月13日)

菊田和代・坊隆史 伝える(上京区赤ちゃんお
祝い訪問プロジェクト実行委員会主催連続
講座, 講師, 6月22日, 10月25日, 1月30
日)

菊田和代・坊隆史・鈴木博子・田中健吾・高原
龍二 これだけは知っておきたい!臨床心
理士のための社会人マナー講座(大阪府臨
床心理士会第20回総会・研修会F分科会,
講師, 7月1日)

武藤崇 「うつ」を再燃させないための復職支
援:新世代の認知行動療法が提案する復職

支援の「新次元」(同志社大学心理臨床センター土曜講座, 講師, 6月9日)

武藤崇 臨床場面における「ことば」をめぐる精神分析と行動分析との対話(2012年度日本行動分析学会公開講座, 講師, 8月25日)

武藤崇 ACTを使いこなすための臨床行動分析入門:「クライアントセラピスト」関係を中心に(日本行動療法学会第36回大会研修会, 講師, 9月21日)

武藤崇 脱ダイエット宣言!: 臨床行動分析から考えるマインドフルな食べ方(同志社大学心理臨床センター土曜講座, 講師, 1月26日)

興津真理子 京都市立看護大学平成24年度ハラスメント防止研修会(京都市立看護大学主催, 講師, 9月19日)

田中健吾・坊隆史・高原龍二・菊田和代 組織・人材のアセスメントとそのツール: 集団と個人の心理を測り尽くす(特定非営利活動法人関西社会人大学院連合主催インテリジェントアレー専門セミナー, 講師, 8月24日, 31日, 9月7日, 14日)

その他

菊田和代 青少年育成事業フォールドオブネイチャー(社団法人東大阪青年会議所主催震災支援活動, 同行, 8月4日, 5日)

水野邦夫・吉川栄子・田積徹・興津真理子 構成的グループ・エンカウンターによるピアヘルパー研修会(8月29日, 30日)

佐藤豪 同志社心理臨床家懇話会開催(5月12日, 7月21日)

14. 2012年度構成員

センター長

鈴木 直人(心理学部 教授)

副センター長

早樫 一男(心理学部 教授)

指導相談員

佐藤 豪(心理学部 教授)

杉若 弘子(心理学部 教授, 在外研究
2012年3月~2013年8月)

武藤 崇(心理学部 教授)

興津真理子(心理学部 准教授)

石川 信一(心理学部 准教授)

特任指導員

河越 隼人(心理学部 助手)

相談員

菊田 和代(心理臨床センター)

三田村 仰(心理臨床センター)

中西 桃子(心理臨床センター)

相談研修員

森下百合子(心理学研究科)

坂野 朝子(心理学研究科)

佐藤 瑞恵(心理学研究科)

茂本 由紀(心理学研究科)

上田 侑加(心理学研究科)

板垣 寛(心理学研究科)

上西 祐輝(心理学研究科)

北川 嘉野(心理学研究科)

田代 紘之(心理学研究科)

梅村 友輔(心理学研究科)

以上